

エネルギー問題とは

- 自然にあるエネルギー資源ストックのなかから、どの資源を、どのような技術を用いて人間の使えるエネルギーに変換し、どのように活用するかは、人間社会が構築してきたエネルギーシステムに依存する。
- エネルギー資源の利用に伴ってさまざまな問題が生じるが、それらが生じる原因は基本的にエネルギーシステムの設計問題にある。
- ベストミックスとエネルギーシステムの選択

信頼性の高いリスク評価システム

- 絶対安全な技術などこの世にはない。発電技術に関してリスク評価が必要になるが、信頼性の高いリスク評価システムは可能か？
- 発電技術に関するリスク評価も原発の状態診断も専門家でなければ分からないことが多いが、果たして専門家だけで判断してよいか
- 専門家の知見と一般市民の知見
- 国民による電源選択権やエネルギーシステムの選択権（の拡大）

原子力発電をめぐる諸問題

- 原子力発電所のような巨大で複雑な技術は、安全な運転管理ができるのだろうか、果たして人間による制御がそもそも可能なのか
- 技術に関する工学的制御の問題＋原発の安全性を評価する社会制度の問題
- リスク評価と損害保険
- バックエンド問題：再処理の是非を含む使用済み核燃料の取り扱い：放射性廃棄物、地層処分、10万年恒久的貯蔵設備、世代間倫理

電力需要制御と節電所の構築

- 今夏の節電：日本企業・日本社会の適応力：電力の供給制約が認識されたことで需要が大きく変化：節電・省エネのポテンシャル
- 供給（能力確保）側に偏ったエネルギー政策からの転換：節電・省エネへの投資を促し、エネルギー効率を抜本的に向上させる
- 節電所（A.ロビンズ）の建設（見えない建設、知識基盤、分かち合いのライフスタイル、WLB）と節電メカニズム、インセンティブ
- 電源の組み合わせとエネルギーの組み合わせ

エネルギーシステムの再設計

- エネルギー消費の削減、エネルギーの組み合わせ、エネルギー効率、green growth
- 電力事業制度（地域独占、総括原価、垂直統合）の改革問題
- 電源別発電コストと公正な競争
- 市場機能の活用とユーザー・国民の選択権
- システム選択をめぐる国民的議論
- サステナビリティ原則（エコロジカルな持続可能性、世代間衡平、社会的持続可能性・・・）に基づくエネルギーシステムの再設計